

戯曲デジタルアーカイブとは

戯曲デジタルアーカイブは緊急舞台芸術アーカイブ+デジタルシアター化支援事業 (EPAD)、文化庁令和二年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」の委託事業として、日本劇作家協会が委託を受け 2021 年 2 月のオープン以来、企画・制作・運営を担っています。

2021 年 2 月	戯曲デジタルアーカイブオープン	収蔵作品数 553 本
2022 年 3 月	劇作家権利処理 DX 化プロジェクト 報告書公開	
2023 年 12 月	収蔵作品追加及び機能更新し改修オープン	収蔵作品数 896 本
2024 年 12 月	収蔵作品追加及び機能更新し改修オープン	収蔵作品数 1038 本に (※収蔵作品の一部に未公開作品あり)

日本劇作家協会とは

一般社団法人日本劇作家協会は、プロとアマチュアの分け隔てなく、劇作に携わるすべての人に参加する資格のある協会です。

劇作家の権利を守るために著作権や上演料について提言を続けているほか、劇作家の育成と戯曲の普及を目指し、新人戯曲賞、戯曲セミナー、戯曲デジタルアーカイブ、英訳・仏訳戯曲集の出版などをはじめとする、多岐にわたる事業を行っています。

〈ご入会について〉

入会の条件は「自らを劇作家と認めた人」であることのみ。Web サイトの入会フォームよりお申込みください。会員には戯曲デジタルアーカイブへの作品掲載のチャンスあり！
金 3,000 円/年会費 12,000 円



日本劇作家協会
WEB サイト
<http://www.jpwa.org>

〈若手劇作家応援プラン〉

35 歳以下でプロの劇作家を目指す方を対象に、最長で 5 年間の年会費を免除する制度です。適用条件詳細は右の QR コードから WEB サイトを参照ください。

一般社団法人 EPAD

一般社団法人 EPAD が文化庁や広く舞台芸術界と連携して進める、舞台芸術アーカイブ+デジタルシアター化支援事業 (Eternal Performing Arts Archives and Digital Theatre) の略称です。

EPAD では消えゆく舞台作品を未来と世界に伝えるため、舞台映像、戯曲、美術、ポスターその他資料のデジタルアーカイブ化や活用を進めると共に、その収録、保存、配信、上映、教育利用などの標準化と、利用を可能にするための権利処理のサポートを行うことを通して、舞台芸術の収益力や対外発信の強化を支援することを目的として活動しています。



EPAD
WEB サイト



EPAD
作品データベース



EPAD
WEB サイト



EPAD
X (Twitter)



EPAD
Instagram

主催：一般社団法人 EPAD
企画・制作・運営：一般社団法人日本劇作家協会アーカイブ委員会
デザイン：かりいーぶあくぶあく (プラン・ニュー・トーン)
助成：文化庁 人材育成・収益化に向けた舞台芸術デジタルアーカイブ化推進支援事業

